

平成27年度定期大会のご案内

今年度の定期大会は、IMY (International Map Year、国際地図年) 2015-2016 の日本における運動の一環として、東京都千代田区にある日本大学経済学部の本館を会場に開催されます。初日の8月5日午後には、昨年度に続きチュートリアルとワークショップを開催します。6日・7日には、通常の口頭・ポスター発表、地図・図書の展示に加えて、野村正七地図賞受賞者による特別講演やその他の講演、インフォグラフィックスや今話題の無人航空機 (UAV) に関する特別セッションなど、盛り沢山の企画を用意しています。大会期間は東京でも最も暑い季節にあたりますが、暑さを味方に、熱く盛り上がる大会にしたいと考えています。是非とも多くの方々にご参加いただきたく、お待ちしております。

開催期日

平成27年8月5日 (水) 13:00~17:10, 6日 (木) 10:00~19:30, 7日 (金) 10:00~17:00

会場および会場へのアクセス

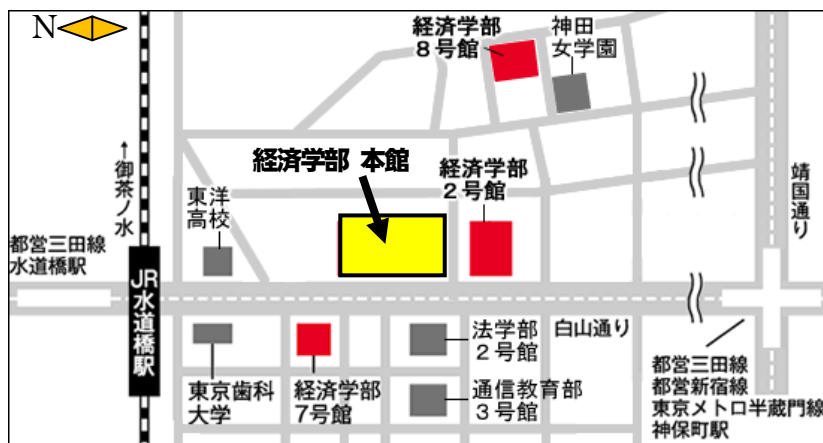
会場 日本大学経済学部本館3階・地下1階ほか 〒101-8360 東京都千代田区三崎町1-3-2

アクセス JR総武・中央線「水道橋」駅徒歩3分 都営三田線「水道橋」駅より徒歩3分

都営新宿線・都営三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅より徒歩5分

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅 2出口 徒歩13分

※下記地図もしくは、<http://www.eco.nihon-u.ac.jp/about/maps/> をご参照下さい。



大会参加費

普通会員・特別会員団体構成員：2,000円 学生会員：1,000円 非会員：3,000円

※参加費には発表論文・資料集代も含まれます。定期大会に参加されず、発表論文・資料集の購入を希望される会員には、一冊700円 (送料込) で頒布します。

※3日間ともに地図・図書展示のみの見学は無料です。

※5日に開催されるチュートリアル・ワークショップへの参加も原則無料です (ただし、資料代等の実費を頂戴する場合があります)。

※懇親会費は5,000円の予定 (あらためて大会受付にてご案内します)。

その他・詳細についてのお問い合わせ先

学会事務局 〒153-8522 東京都目黒区青葉台4-9-6 一般財団法人日本地図センター内

日本地図学会事務局 電話:03-3485-5410 Fax:03-3485-5593

E-mail:gakkai@jmc.or.jp ホームページ:<http://www.jmc.or.jp/gakkai/>

プログラム

- 会場 第1会場：本館3階36番教室
第2会場：本館3階37番教室
第3会場（ポスター発表）：本館3階38番教室
第4会場（地図・図書展示）：本館3階39番教室
第5会場：本館3階32番教室
第6会場：本館3階33番教室
懇親会会場：本館地下1階学生ホール

第1日 8月5日（水）13時00分～17時10分

時間	題目・氏名
13:00	「地図の世界」へようこそ 《チュートリアル》 第3会場・第4会場 地図・図書の最新作の展示 中学生・高校生の地図作品展示と解説
15:00	《ワークショップ》 第5会場・第6会場 授業に役立つ地形図教室 授業に役立つ海図教室 ※それぞれ1回約40分程度、各2回を予定 詳細な開始時刻は当日の案内掲示等でご確認ください
16:40	《特別企画》 第1会場 IMY（国際地図年）2015-2016 と ICC（国際地図学会議）2019 東京招致活動

地図・図書展示時間：13時00分～16時30分

第2日 8月6日(木) 10時00分～19時30分

*は登壇予定者

時間	題目・氏名	
	《口頭発表1》10時00分～11時30分	第1会場
10:00	O-1 大学生の地図利用と都市位置把握の実態 落合康浩(日本大)	
10:15	O-2 日本における地理地図学の展開-1960年代と1970年代を中心に- 鈴木厚志(立正大)	
10:30	O-3 認知科学から見た地図の可能性 新垣紀子(成城大)・小橋康章(大化社)	
10:45	O-4 空間的思考力からみた地図利用の個人差とその要因 若林芳樹(首都大)	
11:00	O-5 小中学生夏休み自由研究用の海図作業 - 廃版航海用海図利用の一例 - 伊藤 等(東農大・非)	
11:15	O-6 領土・海洋教育の充実・強化における海図等の活用 八島邦夫(日本水路協会)	
	《口頭発表2》10時00分～11時30分	第2会場
10:00	O-7 新発田収蔵が描いた『新訂坤輿略全図』の原図考察 井田浩三	
10:15	O-8 初めて「合衆国」と表記された『北亜墨利堅洲全図』について 井田浩三	
10:30	O-9 クレットマンコレクションの地形図と『工兵操典』(初版) 測地之部 細井將右	
10:45	O-10 渡良瀬川改修工事資料を用いた古河城跡の地形情報解析について 山田直弘(古河史楽会)	
11:00	O-11 伊能忠敬の磁針測量方位角帳国宝「山島方位記」の文理融合解析と文理での活用用途 辻本元博(地球電磁気地球惑星圏学会会員)	
11:15	O-12 地域と連携した登山道調査 水田良幸*・齋藤勘一・鎌田高造(国土地理院)	
11:30	《ポスター(一般発表)紹介》11時30分～11時40分	第1会場
	P-1 地下上申宇佐村絵図の詳細な作図状況 西尾良司(日立ハイテクノロジーズ)	
	P-2 新発田収蔵が描いた『蝦夷接壤図』の原図考察 井田浩三	
	P-3 地図投影法ソフト「ジオスタジオ」を利用した図法関連事象の定量化と可視化の試み —地図投影法の教材研究を通して— 田代 博(明治大・非)	
11:40	《地図・図書展示のデモ紹介》11時40分～12時00分	第1会場
	国土地理院 海上保安庁 日本水路協会 日本地図センター 地図情報センター 朝日航洋 グローバルプランニング 国際航業 古今書院 ゼンリン 東京カートグラフィック 東京地図研究社 北海道地図	

12:00	《昼休み》12時00分～13時00分	
12:10	評議員会(12時10分～13時00分)	第2会場
13:00	《ポスター発表コアタイム、地図・図書展示デモ》13時00分～13時45分	第3・第4会場
	《口頭発表3》13時45分～15時00分	第1会場
13:45	O-13 外国人向け観光案内図の表現傾向と課題 黒 卓陽(法政大・院)	
14:00	O-14 フランスにおける交通網と産業展開について地形を重視した主題図の作成の試み 向井亮(法政大・院)	
14:15	O-15 鉄道地図再考：インフラ表示から交通案内へ 永田 喬	
14:30	O-16 明治期からの市区町村界データ整備 ～災害履歴情報への活用を視野に～ 佐藤 慧*・石川 剛・原島克則・柳場さつき(東京地図研究社)	
14:45	O-17 自然・歴史・地理の学習の教材としてのキャンパスマップの製作—慶應義塾大学日吉キャンパスマップを例に 太田 弘(慶應義塾普通部)	
	《口頭発表4》13時45分～15時00分	第2会場
13:45	O-18 カーネル密度推定を利用したイラスト地図における重要ルートの抽出 佐藤史弥*(東京大・院)・Hsiang-Yun Wu(慶應大)・高橋成雄(会津大)・有川正俊(東京大)	
14:00	O-19 Collecting, Sharing and Analyzing Map Signboards on Mobile and Web Mapping Services Ruo Chen Si, Masatoshi Arikawa, Lu Min, Shimon Sugiura and Kazuhiko Nakamura (Univ. of Tokyo, Center for Spatial Information Science)	
14:15	O-20 即時経路探索による複数人同時調査の支援システムの開発 杉浦史門*・中村和彦・Lu Min・Si Ruo Chen・有川正俊(東京大学空間情報科学研究センター)	
14:30	O-21 OpenStreetMap を活用した学習活動としての地図づくり 中村和彦(東京大)	
14:45	O-22 連続スケールにおける地図ラベルの取捨選択 高橋成雄(会津大)*・吳 湘筠(慶應義塾大)・潘 雙洪(ブルネイ工科大)・有川正俊(東京大)	
	《講演》	第1会場
15:10	L-1 地図資料の収集・整理・保存・活用についての一考察 -文書館・地図センター収蔵資料を中心に- 増山聖子(埼玉県立文書館)	
	《特別講演》	第1会場
16:20	野村正七地図賞を受賞して 野村正七先生とICA 金窪敏知(日本地図学会名誉会員)	
17:30	《懇親会》	本館地下1階 学生ホール

地図・図書展示時間：10時00分～16時00分

時間	題目・氏名	
10:00	<p>《特別セッション1》10時00分～12時00分</p> <p>地図とインフォグラフィックス (Ss-1)</p> <p>シンポジウムの位置づけ 有川正俊 (東京大)</p> <p>インフォグラフィックスと情報マッピング 中野豪雄 (中野デザイン事務所)</p> <p>インフォグラフィックスの過去・現在 森田 喬 (法政大)</p> <p>都市情報の可視化 伊藤香織 (東京理科大)</p> <p>データ・ストーリーテリング 藤田秀之 (電通大)</p>	第1会場
12:00	<p>《昼休み》12時00分～13時00分</p>	
13:00	<p>《口頭発表5》13時00分～14時30分</p> <p>O-23 外国地図における地名表記と地名階層—地形図・地方図の事例から 今尾恵介(地図と地名専門部会主査・地図研究者)</p>	第1会場
13:15	<p>O-24 今こそ「総描」を問う—陸地測量部の「地形図図式詳解」、ドイツの「総描教科書」に学ぶ 今尾恵介(地図と地名専門部会主査・地図研究者)</p>	
13:30	<p>O-25 航空交通による世界との結びつきの学習へのGIS導入 —GISにより正距方位図法の主題図を作成するための手法の考案と地図データ作成— 佐藤崇徳 (沼津高専)</p>	
13:45	<p>O-26 外国人にわかりやすい地図のための標準作成 中村孝之*・鎌田高造(国土地理院)</p>	
14:00	<p>O-27 多重光源陰影段彩図とその応用 石川 剛*・鈴木敬子(東京地図研究社)</p>	
14:15	<p>O-28 フランスにおけるベルタン理論対応の作図システムの展開 森田 喬(法政大)</p>	
14:30	<p>《休憩》ならびに《地図展優秀賞表彰式》14時30分～15時00分</p>	第1会場
15:00	<p>《特別セッション2》15時00分～17時00分</p> <p>地図と関わる小型無人機ドローンの活用最前線</p> <p>Ss-2 UAVによる西之島の空中写真撮影及び地形計測 宮地邦英*・大野裕幸・鎌田高造(国土地理院)</p> <p>Ss-3 建設コンサルタントにおける小型無人機ドローン活用事例 保坂俊明 (サンコーコンサルタント)</p> <p>Ss-4 UAV, 自然地理への応用 — サンゴ礁, 海岸, 地形計測 — 長谷川均 (国土館大)</p> <p>Ss-5 小型UAVによる空間線量率マップ作成 近藤昭彦 (千葉大)</p> <p>Ss-6 UAVを用いた水稻モニタリングの活用事例 田中 圭 (日本地図センター)</p>	第1会場